

第13回 ナーシングヘルスケアネット交流会 報告

2016年10月28日

日時：平成28年10月28日(金)
 場所：北とぴあ 701会議室
 内容：自分の看護を見つける～実践の語りから成長へ～

講演者：首都大学東京大学院 教授 西村ユミ先生

参加者：46名

内訳 (人)

医療機関	行政機関	福祉施設	訪問看護	その他	
21	6	3	13	教育 2	ヘルス出版 1

アンケート集計(回答数：30名)

Q1 「職種」について (人)

看護師	保健師	障害者スポーツ指導	無回答	
25	3	1	1	

Q1-1 「役職」について

部長	係長・師長	副師長・主任	スタッフ	その他
2	3	9	6	大学院生:1 無回答:9

Q2 年齢 (人)

20代	30代	40代	50代	60代以上
2	4	16	7	1

Q3 北区ナーシングヘルスケアネットの参加回数 (人)

初回	2回目	3回目	4回目	5回目以上10回未満
14	5	1	3	4
10回目以上	毎回参加	無回答		
2	0	1		

Q4 感想 1)講演 (人)

良い	まあ良い	ふつう	やや悪い	悪い
24	5	0	0	0

未回答1人

2)グループワーク (人)

良い	まあ良い	ふつう	やや悪い	悪い
17	8	1	1	0

未回答3人

3)懇親会 (人)

良い	まあ良い	ふつう	やや悪い	悪い
7	3	0	0	0

未回答20人

Q5 北区ナーシングヘルスケアネットをどこで知ったか？

友人	職場	上司の勧め	ホームページ	未回答
3	12	3	3	9

その他 1人 学会 複数回答者 0人

Q6 この会が地域の顔の見える関係づくりに有効だと思うか？

思う	思わない	他の会があるから	未回答
28	1	0	1

ご意見・ご感想、希望する学習内容など

- ・自分の看護を見つける。実践を語る。インシデントなどから語りを取り入れていく
- ・興味深いテーマの設定に感心しています。
- ・講演内容はとても考えさせられる内容でした。ありがとうございました。
- ・最近「仕事を早く終わらせること」ばかりが求められ、意味づけをしたり、正確に振り返る時間が重視されない傾向を感じている。とても貴重な機会を頂きました。
- ・引っ掛かりを残すことが自分の成長に繋がるということを学ぶことができ、すごく前向きになれる思いがしています。
- ・語りについて、知らなかった視点、捉え方を知ることができ、良かったです。
- ・日ごろの業務・看護の振り返りの必要性をお強く感じた。
- ・看護を語ること、最近はできていなかったなあと感じました。振り返ることも大事だと改めて思いました。
- ・とても参考になった

要望

- ・難しいテーマと感じ、1時間では短いと思った。
- ・今日は、アピールできて大変うれしかったです。また来たいです。ありがとうございました。
- ・講演の枠がもう少し欲しいかなと思いました。
- ・今後も続けていってほしいです

文責：松本 啓子